



給食だより



坂町立給食センター

あけましておめでとうございます

冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日を大切に過ごしてほしいと思います。



今年(ことし)はうま年!



うまのように野菜をたっぷり食べよう!




箸を**うま**く使いこなしてきれいに食べよう!



よく味わって**うま**味を感じよう!

1月11日は鏡開き

鏡もちを小さく割ってお汁粉などに入れ、無病息災を願って食べる行事です。もちを小さくするのに、包丁など刃物を使うのは武士の「切腹」を連想させるため縁起が悪いとされ、木づちや手で割ります。また、「割る」ではなく「開く」という縁起の良い言葉が使われます。



今月のリクエスト給食!

毎年各学校の小学校6年生、中学校3年生に献立を考えてもらっているリクエスト給食、1月は坂小学校です! 献立のポイントは「体が温まる献立にしたこと」だそうです。寒い今の季節にぴったりの献立ですね! リクエスト給食は1月13日(火)です! たくさん食べてくださいね!

ごはん

ジョア (いちご)

キムチース肉じゃが

小松菜のごま和え

プリン



1/24~1/30は
「全国学校給食週間」です

にほん がっ こう きゅうしょく

日本の学校給食のあゆみ

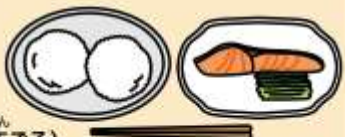
学校給食の始まり



明治 22 (1889) 年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正 12 (1923) 年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

おにぎり

やぶがな
焼き魚
つけもの
漬物
(明治 22 年ごろ)



ごしき
五色ごはん
えいよう
栄養みそ汁
(大正 12 年ごろ)



支援物資による学校給食の再開



戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和 21 (1946) 年 12 月 24 日に LARA (アジア援公認団体) から給食用物資の寄贈を受けて、翌 1 月に学校給食が再開されました。当初は 12 月 24 日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない 1 月 24 日からの 1 週間を「全国学校給食週間」とすることにしました。

ミルク

トマトシチュー
(昭和 22 年ごろ)



コッペパン・ミルク
タツタ 魚
クジラの竜田揚げ
せん切りキャベツ
(昭和 25~30 年ごろ)



バラエティー豊かな献立内容に



昭和 29 (1954) 年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和 51 年に米飯(ご飯)が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していききました。

ミートスパゲッティ
牛乳



カレーライス
牛乳・塩もみ
ゆで卵
(昭和 51 年ごろ)



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を続けることができるように、学校給食は「教材」としての役割も担っています。